

10月13日(木) 午後

A 会場

富士山・溶岩流・レオロジー  
座長：後藤章夫・常松佳恵

- 13:00-13:15  
A1-01 岩脈と割れ目噴火から見た富士火山の噴火史  
※高田 亮・山元孝広・石塚吉浩・中野 俊
- 13:15-13:30  
A1-02 宝永火口で見る富士山の成り立ちと噴火  
※小山真人・石橋秀巳・鈴木雄介
- 13:30-13:45  
A1-03 富士山の歴史時代噴火の古地磁気年代 ※馬場 章  
金丸龍夫・吉本充宏
- 13:45-14:00  
A1-04 富士山北麓雁ノ穴火口地域のトレンチ調査(速報)  
※吉本充宏・馬場 章・山本真也  
内山 高・常松佳恵・藤井敏嗣・荒牧重雄
- 14:00-14:15  
A1-05 斑晶鉱物の組成累帯構造から探る富士火山宝永噴火  
の噴火過程 ※◎有賀貴史・中村美千彦  
奥村 聡・吉本充宏
- 14:15-14:30  
A1-06 富士火山宝永噴火の玄武岩質マグマ上昇過程: 斜長石  
マイクロライトからの制約 ※◎天野大和  
石橋秀巳・外西奈津美・安田 敦
- 14:30-14:45  
A1-07 富士火山の斑レイ岩捕獲岩に含まれるメルト包有物  
田中佑希子・※石橋秀巳・外西奈津美・安田 敦
- 14:45-15:00  
A1-08 Wavelet 解析による富士山の低周波地震のスペクトル  
構造 ※鶴川元雄

15:00-15:15 休憩

- 15:15-15:30  
A1-09 溶岩流シミュレーションにおける地形データと計算  
格子のサイズ依存性 - 富士山剣丸尾溶岩流を例と  
して- ※常松佳恵・藤田英輔  
吉本充宏・内山 高
- 15:30-15:45  
A1-10 北海道白滝, 赤石山黒曜石溶岩の内部構造と噴出過  
程 ※和田恵治・佐野恭平
- 15:45-16:00  
A1-11 繰り返し圧縮実験によるストロンボリ玄武岩質火山  
灰のレオロジー探究 ※黒川愛香・三輪学央  
奥村 聡・上杉健太郎

B 会場

火山ガス・熱水・観測手法  
座長：大場 武・高木朗充

- 13:00-13:15  
B1-01 マルチガス連続観測装置による火山ガスの監視につ  
いて ※高木朗充・篠原宏志・福井敬一  
谷口無我・鳥巢啓多
- 13:15-13:30  
B1-02 吾妻山大穴火口の噴気活動について ※篠原宏志  
風早竜之介
- 13:30-13:45  
B1-03 箱根火山2015年噴火後の火口域における噴気活動と  
湧泉の変化 ※萬年一剛・菊川城司  
原田昌武・本間直樹
- 13:45-14:00  
B1-04 口永良部島火山における空中火山ガス組成観測  
※風早竜之介・篠原宏志・大湊隆雄・金子隆之
- 14:00-14:15  
B1-05 霧島えびの高原硫黄山噴気の化学組成・  
安定同位体比 ※大場 武・谷口無我
- 14:15-14:30  
B1-06 二酸化硫黄放出量の自動観測へ向けた基礎データの  
収集 ※森 健彦・新堀敏基・鹿児島地方気象台
- 14:30-14:45  
B1-07 十勝岳で観測されている地球物理現象に対する熱水  
変質作用からの検討 ※高橋 良・八幡正弘  
岡崎紀俊・田村 慎
- 14:45-15:00  
B1-08 福島県吾妻火山明治水蒸気噴火による 噴出物と構成  
鉱物 ※濱崎聡志・及川輝樹

15:00-15:15 休憩

- 15:15-15:30  
B1-09 原子核乾板による宇宙線ラジオグラフィ技術の高度  
化と火山観測への適用 ※森島邦博・西尾 晃  
毛登優貴・久野光慧・眞部裕太  
北川暢子・中村光廣
- 15:30-15:45  
B1-10 宇宙線ラジオグラフィによる火山観測にむけた原子  
核乾板検出器の開発 ※◎西尾 晃・森島邦博  
中村光廣
- 15:45-16:00  
B1-11 気象レーダーを用いた火山噴出物の堆積量推定に関  
する研究 ※◎村西将英・大石 哲

16:00-16:15

A1-12 雲仙普賢岳平成溶岩は流れずに滑りで前進していた  
※後藤章夫・福井敬一・松島 健

16:15-16:30

A1-13 玄武岩及び安山岩溶岩流における溶岩チューブ洞窟  
の検討 ※本多 力

16:30-16:45

A1-14 ニイラゴンゴ火山の最近の溶岩湖活動の観察  
※浜口博之・カセレカ M.・ワフラ M. D.  
グループ EMEN

16:00-16:15

B1-12 無人航空機を用いた投下型火山観測ブローブの開発  
について ※白石浩章・白井 慶・石原吉明  
早川雅彦・水野貴秀・後藤 健  
尾崎正伸・山田和彦・田中 智  
山田竜平・及川 純・村上英記

16:15-16:30

B1-13 月火星の火成活動起源地下空洞の直接探査  
～UZUME 計画～ ※春山純一

16:30-16:45

B1-14 超高層大気を伝搬する超低周波の火山爆発音  
－GNSS-TEC 法による波面構造と音響エネルギー推  
定の試み－ ※◎中島悠貴・青木陽介  
西田 究・日置幸介

10月14日(金) 午前

A 会場

噴火プロセス

座長：宝田晋治・三輪学央

9:00-9:15

A2-01 気泡流における粗密波形成の支配要因の実験的検証  
※◎木下 茜・寅丸敦志

9:15-9:30

A2-02 宇宙線ミュオンを用いたストロンボリ火山浅部の  
火道形状観測 ※宮本成悟・西山竜一  
Tioukov Valeri・Bozza Cristiano  
Sirignano Chiara・D'Ambrosio Nicola

9:30-9:45

A2-03 始良カルデラ形成噴火における大隅降下軽石噴出期  
の火道拡大プロセス ※下司信夫・宮縁育夫

9:45-10:00

A2-04 Source characteristics of explosion earthquakes at  
Sakurajima volcano using spectral ratio method  
※◎Hasib Mohammad・西村太志・中原 恒

10:00-10:15

A2-05 火山灰拡散予測のためのレーダーと衛星観測の即時  
的なデータ同化 ※石井憲介・新堀敏基・佐藤英一  
徳本哲男・福井敬一・橋本明弘

10:15-10:30 休憩

10:30-10:45

A2-06 異なる噴火様式で形成された火砕物のクラスタリング  
※野口里奈・下司信夫

10:45-11:00

A2-07 顕微可視分光システムによる火山灰粒子の分類  
※嶋野岳人・中村美千彦・井口正人・三輪学央

B 会場

火山防災

座長：山里 平・久利美和

9:00-9:15

B2-01 水蒸気噴火による"低温"火砕流による人的被害の  
発生条件 ※伊藤順一

9:15-9:30

B2-02 吾妻小富士山頂における噴石からの避難  
※佐藤 公・佐々木寿

9:30-9:45

B2-03 火山活動が鉄道に与える影響に関する一考察  
※西金佑一郎・浦越拓野・川越 健

9:45-10:00

B2-04 気象庁の噴火警戒レベルの判定基準の精査と公表  
※山里 平・宇平幸一・坂井孝行

10:00-10:15

B2-05 噴火警戒レベルの判定基準の精査－浅間山と御嶽山  
の場合－ ※宇平幸一・山里 平・坂井孝行

10:15-10:30 休憩

10:30-10:45

B2-06 準リアルタイム火山防災情報表示システムの開発  
※大島弘光・宮村淳一・棚田俊收

10:45-11:00

B2-07 メラピ火山の地震活動から予測する火砕流の規模  
※井口正人・中道治久・宮本邦明・下村 誠  
I Gusti Made Agung Nandaka・Agus Budi Santoso  
Sulistiyani・Nurnaning Aishyah

- 11:00-11:15  
 A2-08 小規模噴火における火山灰凝集 ※三輪学央  
 入山 宙・長井雅史・七山 太
- 11:15-11:30  
 A2-09 “先進的な”気象レーダー網による噴火の初期解析  
 結果 ※佐藤英一・福井敬一・新堀敏基  
 石井憲介・真木雅之・井口正人
- 11:30-11:45  
 A2-10 LIDAR 観測による火山噴出物の散乱特性  
 ※日向 洋・井口正人・鍵山恒臣
- 11:45-12:00  
 A2-11 島根半島佐波湾における中期中新世浅海火砕丘の成  
 長と爆発的噴火 ※鹿野和彦
- 12:00-12:15  
 A2-12 火砕流の堆積構造と流動堆積機構 ※宝田晋治  
 星住英夫

- 11:00-11:15  
 B2-08 活動頻度の違いによる火山活動情報への意識差：  
 口永良部 2015 年噴火と蔵王火山 2015 年警戒情報を  
 事例に ※久利美和・阪本真由美・牧 紀男  
 サッパシー アナワット  
 寅屋敷哲也・ドノバン アミー
- 11:15-11:30  
 B2-09 噴石衝突実験による鉄筋コンクリートシェルターの  
 安全性検討 ※山田浩之・佐々木寿  
 成毛志乃・小笠原永久
- 11:30-11:45  
 B2-10 構造用木材の強度に及ぼすひずみ速度の影響  
 ※小林秀敏・山田浩之・吉本充宏・小川欽也
- 11:45-12:00  
 B2-11 企業における火山防災の必要性 ※林 孝幸  
 矢代晴実

10 月 14 日 (金) 午後

A 会場

地殻変動

座長：青木陽介・小林知勝

- 13:15-13:30  
 A2-21 平成 28 年熊本地震に関連する地殻変動と地下水の動き  
 宮崎龍毅・宮崎龍次郎・吉川美由紀・千葉達朗
- 13:30-13:45  
 A2-22 干渉 SAR を用いた地殻変動観測における大気遅延  
 誤差の低減処理の重要性について～2015 年桜島マグ  
 マ貫入イベントの解析を例に～ ※小林知勝
- 13:45-14:00  
 A2-23 ALOS-2 データによるえびの高原（硫黄山）の  
 最近の地殻変動 ※青木陽介・荒井大輝
- 14:00-14:15  
 A2-24 カムチャッカ・クリュチェフスコイ火山での連続  
 GNSS 観測 ※大園真子・高橋浩晃・青山 裕  
 宮町宏樹・松島 健・山下裕亮  
 ゴルディエフ E・ヤロスラフ M・セロベトニコフ S.
- 14:15-14:30  
 A2-25 干渉 SAR 解析による箱根火山 2015 年噴火以後の  
 地表面変位 ※道家涼介・原田昌武・本多 亮  
 行竹洋平・萬年一剛・竹中 潤
- 14:30-14:45  
 A2-26 火山性地震の応力応答 — 潮汐による影響  
 ※森田裕一・鶴岡 弘
- 14:45-15:00  
 A2-27 雌阿寒岳の火山活動に連動した膨張性地殻変動  
 ※村上 亮・成田翔平・鈴木敦生・森 濟

B 会場

火山地質

座長：宮縁育夫・田島靖久

- 13:15-13:30  
 B2-21 熊本地震が阿蘇火山に与えた影響について  
 ※田島靖久・長谷中利昭・鳥井真之
- 13:30-13:45  
 B2-22 2016 年熊本地震によって阿蘇カルデラ内で発生した  
 斜面崩壊のテフラ層序学的特徴 ※宮縁育夫
- 13:45-14:00  
 B2-23 伊豆大島火山における降下火山砕屑物の層厚分布・  
 力学特性 ※後藤 聡・木村 諤・佐藤 剛  
 土志田正二・若井明彦・林信太郎
- 14:00-14:15  
 B2-24 ラハール堆積物と噴出物の岩石学的対比  
 - 鳥海山の例 - ※◎菅野拓矢・大場 司  
 南 裕介・林信太郎・伴 雅雄
- 14:15-14:30  
 B2-25 小浅間ボーリングコア流紋岩質浅間仏岩下部溶岩に  
 みられる岩相変化 ※高橋正樹・瀬尾 望  
 佐々木智啓・安井真也・金丸龍夫・長井雅史
- 14:30-14:45  
 B2-26 八甲田一十和田カルデラ群火砕流堆積物の鉱物組成  
 分布 ※佐々木実
- 14:45-15:00  
 B2-27 斜長石の Sr 同位体比及び微量元素組成に基づく室生  
 火砕流堆積物の給源 ※◎西村公宏・巽 好幸  
 木村純一・常 青

---

臨時総会 (A 会場) 15:15-16:00

---

A 会場

日本火山学会 記念講演

座長：西村太志

日本火山学会 研究奨励賞・記念講演

16:15-16:45

S-01 火山ガス観測研究に基づく火山噴火機構の解明  
—30代研究者が考える火山ガス研究の変遷と今後—  
※風早竜之介

日本火山学会 学会賞・記念講演

16:45-17:15

S-02 噴火の初動調査の重要性 ※中田節也

---

懇親会 (シルバンズ) 18:00-20:00

---

10月15日 (土) 午前

---

A 会場

火山の構造

座長：鬼澤真也・高橋浩晃

9:00-9:15

A3-01 Seismic Noise analysis on New Zealand Volcanoes to  
determine crustal structure and its time variation  
※ Savage Martha・Godfrey Holly・Fry Bill・Yate Alec

9:15-9:30

A3-02 N型地震の振動特性から推定された吾妻山浅部熱水  
系の時間発展 ※◎鳥本達矢・山本 希  
三浦 哲・植木貞人

9:30-9:45

A3-03 1次元解析による霧島硫黄山周辺の比抵抗構造  
※◎塚本果織・相澤広記・神田 径・関 香織  
木下貴裕・上嶋 誠・小山崇夫・宇津木充

9:45-10:00

A3-04 全磁力および AMT 観測から推定される雌阿寒岳  
浅部の火山活動 ※高橋幸祐・高倉伸一  
松島喜雄・藤井郁子

10:00-10:15

A3-05 電磁気学的に観た蔵王山の 2014-2016 年の活動と  
地殻構造 ※市來雅啓・海田俊輝・出町知嗣  
平原 聡・中山貴史・佐藤真樹子・山本 希  
三浦 哲・森山多加志・芥川真由美・小林 宰  
松浦茂郎・大森茂生・小野幸治・関 晋  
神田 径・関 香織・小川康雄  
潮田雅司・上嶋 誠

B 会場

マグマ

座長：西村光史・東宮昭彦

9:00-9:15

B3-01 神鍋単成火山群におけるアルカリ玄武岩のマグマ  
プロセス ※◎高橋 峻・柵山徹也

9:15-9:30

B3-02 熱力学を組み込んだ熱物質輸送モデルによる開放系  
マグマ溜まりの組成進化の推定 ※西村光史

9:30-9:45

B3-03 蔵王火山、最近 3.5 万年間の噴出物の岩石学的特徴  
とマグマ供給系の変遷 ※武部義宜・西 勇樹  
河野 元・足立辰也・佐藤 光・伴 雅雄

9:45-10:00

B3-04 最新期の K-Ar 年代をもつ蔵王火山の初生比および  
希ガス同位体比の変遷 ※佐藤佳子・武部義宜  
熊谷英憲・伴 雅雄

10:00-10:15

B3-05 伊豆島弧リフト帯における流紋岩質火山活動の起源物  
質 ※原口 悟・木村純一  
仙田量子・藤永公一郎・中村謙太郎  
高谷雄太郎・石井輝秋

10:15-10:30 休憩

---

10:15-10:30 休憩

10:30-10:45

A3-06 伊豆大島における地殻変動と地震波速度変化—気象  
庁データの解析—  
※◎高野智也・西村太志・中原 恒

10:45-11:00

A3-07 伊豆大島火山における重力変化 ※鬼澤真也  
高木朗充・松島喜雄・安藤 忍  
福井敬一・平山康夫

11:00-11:15

A3-08 不飽和層の自然電位の発生様式—伊豆大島火山を  
例として— ※松島喜雄

11:15-11:30

A3-09 伊豆小笠原マリアナ弧の基盤—プレート沈み込み  
開始期のテクトニクス— ※石塚 治  
谷健一郎・針金由美子・海野 進  
金山恭子・坂本 泉・山崎俊嗣

11:30-11:45

A3-10 浅間山浅部イベントから示唆される火口直下の流体  
供給 ※前田裕太・武尾 実

11:45-12:00

A3-11 日本列島における深部低周波地震の発生状況と火山  
活動との関係 ※高橋浩晃・宮村淳一・椎名高裕

10:30-10:45

B3-06 マグマ噴出率の時間変化とマグマ組成変化の関係  
※山元孝広・工藤 崇・石塚 治

10:45-11:00

B3-07 鬼界アカホヤ噴火マグマ溜りの深さ：メルト包有物  
揮発性成分分析による推定 ※斎藤元治

11:00-11:15

B3-08 洞爺火砕流の噴火直前マグマプロセス  
※東宮昭彦・後藤芳彦・檀原 徹  
Shanaka de Silva

11:15-11:30

B3-09 阿蘇カルデラのポストカルデラマグマ供給系  
※宮城磯治・星住英夫・宮縁育夫

11:30-11:45

B3-10 3次元電気比抵抗構造で診る阿蘇カルデラのマグマ  
溜まり ※畑 真紀・高倉伸一・松島喜雄  
橋本武志・宇津木充

11:45-12:00

B3-11 北海道屈斜路カルデラのリサージェントドーム  
※後藤芳彦・Jocelyn McPhie

10月15日(土) 午後

## A 会場

ジオパーク【公開】  
座長：大野希一・廣瀬 亘

13:15-13:30

G-01 天然記念物の保存と活用 ※柴田伊廣

13:30-13:45

G-02 ジオサイトの自然の価値とそこでの情報提供  
※目代邦康

13:45-14:00

G-03 桜島・錦江湾ジオパークにおける看板とパンフレットの  
制作ポリシー ※福島大輔

14:00-14:15

G-04 日本国内のジオパークにおける解説看板の設計プロ  
セス ※廣瀬 亘

14:15-14:30

G-05 伊豆半島ジオパークにおける地質用語の誤解とその  
是正 ※鈴木雄介・小山真人

14:30-14:45

G-06 ジオパークで使う地図は地形のわかるものを  
※井村隆介

## B 会場

火山活動分岐  
座長：宗包浩志・前野 深

13:15-13:30

B3-21 高分解能衛星画像とひまわり8号高頻度赤外画像に  
よるインドネシア、ラウン火山2015年噴火推移の  
推定 ※金子隆之・安田 敦  
前野 深・ウスター M.J.

13:30-13:45

B3-22 2014年御嶽山噴火前後における割石温泉でのガス  
噴出の増加 ※木股文昭・田阪茂樹  
浅井康広・松原正也

13:45-14:00

B3-23 草津白根火山で2014年に発生した群発地震に伴う  
流体上昇 ※◎桑原知義・寺田暁彦・行竹洋平  
神田 径・小川康雄

14:00-14:15

B3-24 巨大カルデラ噴火の誘因は何か？ ※小林哲夫

14:45-15:00 休憩

15:00-15:15

G-07 子ども向けの火砕流・火山泥流実験 ※横山 光

15:15-15:30

G-08 書籍「ジオパークへ行こう！」と子どもへの火山情報発信 ※林信太郎

15:30-15:45

G-09 海外のユネスコ世界ジオパークにおける学術情報の発信事例 ※大野希一

15:45-16:00

G-10 火山に関する情報発信と学会の役割 ※中田節也

16:00-16:15 総合討論

14:15-14:30

B3-25 インドネシア・ケルト火山における2014年プリニー式噴火の推移・物理量と中長期的マグマ噴出率  
※前野 深・中田節也・吉本充宏・嶋野岳人  
外西奈津美・Zaennudin Akhmad・井口正人

14:30-14:45

B3-26 大地震による火山噴火の誘発 ※西村太志

14:45-15:00 休憩

15:00-15:15

B3-27 三宅島2000年噴火前後の地殻変動力源の再検討  
※宗包浩志

15:15-15:30

B3-28 GNSS連続観測データから明らかにした2013～2016年のシナブン火山におけるマグマ貫入・放出過程  
※堀田耕平・井口正人・大倉敬宏  
Hendrasto Muhamad・Gunawan Hendra  
Rosadi Umar・Kriswati Estu

15:30-15:45

B3-29 地震波干渉法に基づく2015年8月15日桜島のダイク貫入に伴う地震波散乱特性の時空間変化の検出  
※◎廣瀬 郁・中原 恒・西村太志

15:45-16:00

B3-30 Combination Model of Spherical Source and Block Movement for Asymmetric Ground Deformation Prior to The Eruptions in 2006 and 2010 at Merapi Volcano  
※◎Aisyah Nurnaning・井口正人

16:00-16:15

B3-31 アゾレス諸島 Fogo (Agua de Pau) 火山の2011-2012年の火山危機は噴火未遂か？ ※岡田 純  
アラウージョ ジョアン・ボンフォーテ アレサンドロ  
グウジェルミーノ フランチェスコ  
ロレンツォ マリア・フェレイラ テレーザ

16:15-16:30

B3-32 噴火遷移中の火道・マグマ溜まりの圧力変化がもたらす地殻変動 ※小園誠史

### ポスターセッション

・ポスター掲示時間：10月13日（木）12:00～10月15日（土）13:00

ふじさんホール1階・2階ホワイトエ

・コアタイム：10月13日（木）17:00-17:45（奇数番号P1, P3～P73, GP1, GP2）

10月13日（木）18:00-18:45（偶数番号P2, P4～P72, GP1, GP2）

GP1 ジオパークにおける火山情報発信が抱える課題  
※宇井忠英

GP2 小学校におけるジオパーク火山教室：七輪マグマ実験の活用 ※三好雅也・藤井純子・内山田朋弥  
畑中健徳・吉川博輔・山本博文

P1 キラウェア火山の溶岩チューブ洞窟から得られる知見  
※本多 力

P2 青木ヶ原・石塚溶岩流の大杉樹型群の観察から得られる知見 ※勝間田隆吉・本多 力・宮下弘文  
横田但人・菊地健二・畑中 将

P3 自己浮上式海底地震計データを用いた西之島火山性地震の震源決定 ※長岡 優・高木朗充・対馬弘晃

P4 ALOS-2/PALSAR-2 データ解析による西之島の火山活動推移 ※安藤 忍・奥山 哲・福井敬一

- P5 ALOS-2 の干渉 SAR によって検出された西之島の  
地表変位 ※藤原 智・三浦優司・上芝晴香  
攪上泰亮・本田昌樹・仲井博之・宮原伐折羅  
矢来博司・小林知勝・森下 遊
- P6 西之島噴火における溶岩流の流出方位の変化  
※福井敬一・安藤 忍・奥山 哲
- P7 西之島噴火による流動中の溶岩流の表面構造  
※千葉達朗・佐々木寿・附田園郁・塩谷みき
- P8 変位・振動可視化レーダによる溶岩ドーム変位観測  
のための実証実験 ※本田 健・堀内成郎  
吉川和男・三五大輔・柴田俊彦・能美 仁  
能美 陽・白井郁夫・九十歩修
- P9 無人ヘリによる西之島の観測(1): 試料採取と 4K  
画像の撮影 ※金子隆之・大湊隆雄・武尾 実  
小山崇夫・前野 深・安田 敦・中田節也  
渡邊篤志・高木朗充・長岡 優
- P10 無人ヘリによる西ノ島の観測(2): 採取試料の岩石  
学的特徴 ※安田 敦・金子隆之・大湊隆雄  
前野 深・中田節也・外西奈津美  
武尾 実・高木朗充
- P11 西之島火山噴火マグマの岩石学的特徴と揮発性成分  
濃度 ※斎藤元治・石塚 治・中野 俊  
下司信夫・田村芳彦・森下泰成・野上健治
- P12 西之島周辺海域で採取された海水組成変化  
※佐藤 泉・小野智三・森下泰成・濱崎翔五  
高橋日登美・野上健治
- P13 口永良部島火山の二酸化硫黄放出率の繰り返し観測:  
その3 ※森 俊哉・森田雅明・井口正人  
福岡管区気象台
- P14 立山地獄谷の温泉水の硫黄同位体比 ※◎関 香織  
青山慎之介・上野雄一郎・神田 径
- P15 海底火山活動に伴う変色海水の生成過程に関する実  
験的研究 (Fe-Al 系) ※◎川井陽太・野上健治
- P16 箱根山大涌谷における火山ガス多成分連続観測シス  
テムの構築 ※代田 寧・大場 武・小林康晃
- P17 温度検層データから推定される箱根火山の地温勾配  
※原田昌武・板寺一洋・萬年一剛・道家涼介
- P18 中部沖縄トラフ伊平屋北海丘熱水域に産する黄鉄鉱  
の微量元素組成の特徴 ※池端 慶・服部浩一  
黒澤正紀・小室光世・笹 公和・石井 聡  
三好陽子・島田和彦・戸塚修平・石橋純一郎
- P19 雌阿寒岳, 阿寒富士の噴火活動とマグマ供給系  
※佐藤鋭一・和田恵治
- P20 高温高压実験による阿蘇1 噴火前マグマ溜まり条件  
の予察的制約 ※潮田雅司・宮城磯治  
鈴木敏弘・高橋栄一
- P21 第四紀火山, 冷水山火山の岩石学的特徴  
※◎佐藤 真・伴 雅雄・高野 徹  
及川輝樹・山崎誠子
- P22 蔵王火山, 1895 年噴出物中の火山弾の岩石学的特徴  
※廣上千尋・伴 雅雄
- P23 蔵王火山五色岳形成開始前後の噴出物のマグマ溜まり  
※◎西 勇樹・伴 雅雄・及川輝樹・山崎誠子
- P24 斜長石斑晶組織から探る富士火山のマグマ供給系  
※◎井上智未・石橋秀巳・外西奈津美・安田 敦
- P25 先小御岳火山マグマにおけるザクロ石と角閃石の  
結晶分化作用 ※柴田知之・吉本充宏  
藤井敏嗣・中田節也
- P26 福井県経ヶ岳・法恩寺山火山噴出物の岩石学的特徴  
※内山田朋弥・三好雅也・佐野貴司
- P27 北部フォッサマグナ米山北麓の中ノ岳貫入岩体の  
岩石学的検討 ※◎相澤正隆・岡村 聡  
米山団体研究グループ
- P28 秋田駒ヶ岳火山, 主成層火山形成期の TH・CA マグ  
マの組成変化 ※◎柳澤妙佳・藤縄明彦
- P29 阿蘇中岳 2014 - 2015 年火山灰の微細組織の時間変化  
※大槻静香・下司信夫・三輪学央
- P30 噴火規模とメルト SiO<sub>2</sub> 量・斑晶量との関係  
※竹内晋吾・三浦大助・土志田潔  
上澤真平・伊藤久敏
- P31 異なる沈み込み帯における噴火の規模と頻度の推定  
※清杉孝司
- P32 阿蘇火山北西部に分布する Aso-4 火砕流堆積物の  
層序と岩石学 ※荒川洋二・関 琢磨・新村太郎  
大鹿淳也・森 康・池端 慶
- P33 福島県南部, 鎌房山における火砕堆積物・岩屑なだ  
れ堆積物の層序 ※◎関根大輔・長谷川健  
草津白根火山の完新世噴火履歴 ※◎亀谷伸子  
石崎泰男・濁川 暁・吉本充宏  
寺田暁彦・上木賢太
- P35 青ヶ島火山 1780-85 年天明噴火の推移  
小林 幹・津久井雅志
- P36 日本のプリニー式噴火の推移過程 ※及川輝樹  
宝田晋治・東宮昭彦・下司信夫  
星住英夫・川辺禎久・古川竜太  
石塚吉浩・土屋沙亜武・小林 淳
- P37 テフラ構成物から再検討した日光白根火山の噴火史  
※草野有紀・石塚吉浩・及川輝樹
- P38 クッタラ火砕噴出物のシーケンスと層序の再検討  
※三浦大助・竹内晋吾・上澤真平
- P39 K-Ar 年代測定に基づく吾妻火山の形成史  
※中野 俊・松本哲一・古川竜太・山元孝広
- P40 インドネシア, ジャワ中部スンドロ火山の  
噴火活動史 ※古川竜太・高田 亮  
Prambada Oktory・Kartadinata Nuguraha  
Wiboyo Haryo・中川光弘・荒川洋二・池端 慶
- P41 小笠原硫黄島火山の最近の噴火活動 ※長井雅史  
小林哲夫・三輪学央・棚田俊收・上田英樹
- P42 平成 28 年熊本地震で発生した杵島岳火口の地形変化  
※佐々木寿
- P43 那須茶臼岳における比抵抗構造の再解析  
※◎木下貴裕・神田 径・相澤広記

- P44 火山活動評価手法の検討(1)―地震回数による調査  
柴田要佑・松浦茂郎・※岡田 純・長谷川安秀
- P45 クラック振動の解析式に基づくガレラス火山(コロンビア)および草津白根山のLPイベントの比較  
※◎田口貴美子・熊谷博之・前田裕太  
Torres Roberto
- P46 レシーバ関数解析によるニュージーランド・トンガリロ火山帯の地殻・マントル構造 ※木下佐和子  
Savage Martha・青木陽介・Behr Yannik
- P47 2014年M=5.6地震後における樽前山周辺の地震活動解析 ※千葉慶太・上田英樹・棚田俊收
- P48 ストロンボリ火山の山腹噴火前のキツキ音地震活動 ※青山 裕・山田大志・西村太志・川口亮平  
三輪学央・藤田英輔・リペペ マウリツィオ  
ジェンコ リカルド
- P49 2015年6月の臨時観測によるストロンボリ火山の噴火地震の相対震源決定(2) ※◎杉村俊輔・西村太志  
青山 裕・山田大志・藤田英輔・三輪学央  
川口亮平・Ripepe Maurizio・Genco Riccardo  
Valade Sebastien
- P50 イタリア・ストロンボリ火山の噴火に先行する傾斜変動(3) ※川口亮平・西村太志・青山 裕  
山田大志・三輪学央・藤田英輔・Ripepe Maurizio  
Genko Riccardo・Lacanna Giorgio
- P51 小笠原硫黄島における常時微動観測 ※村越 匠  
桶本勇二・西本将平
- P52 吾妻山大穴火口周辺における全磁力観測 ※山崎 明・中橋正樹  
仙台管区気象台地域火山監視・警報センター
- P53 有限要素法による御嶽山2014年噴火後の収縮源モデル推定 ※◎成田翔平・村上 亮
- P54 精密水準測量で検出された霧島・えびの高原の地盤上下変動(2012年3月~2016年6月)  
※◎森田花織・松島 健・内田和也・宮町凜太郎  
手操佳子・藤田詩織・中元真美・清水 洋  
森 濟・村瀬雅之・大倉敬宏  
井上寛之・横尾亮彦
- P55 伊豆大島の多成分ひずみ計とGNSSによる長期的ひずみ変化の比較 ※山本哲也・高山博之  
鬼澤真也・高木朗充
- P56 地盤変動と相関の高い火山性磁場変動 ※橋本武志  
田中 良
- P57 伊豆大島の地殻変動の回転楕円体力源を用いた解析について ※高山博之・山本哲也・鬼澤真也
- P58 水準測量繰返し観測による口永良部島火山の地盤上下変動 ※山本圭吾・園田忠臣  
大倉敬宏・井上寛之
- P59 桜島2015年8月のマグマ貫入イベント前後の歪・傾斜変動の整理 ※長山泰淳・井口正人
- P60 PALSAR-2により検出された十勝岳62-II火口周辺での最近の地殻変動 ※奥山 哲・川口亮平・安藤 忍
- P61 ALOS-2/PALSAR-2 差分干渉解析およびGNSS観測による新潟焼山での最近の地殻変動 ※鎌田林太郎  
木村一洋・兒玉篤郎・安藤 忍  
奥山 哲・川口亮平
- P62 吾妻山浄土平総合観測点で観測された2014-2015年火山活動活発化に伴う傾斜変動 ※吉開裕亮  
稲葉俊英・岡田 純
- P63 ウェーブレット変換を応用した気泡音の相互相関解析 ※◎山河和也・市原美恵
- P64 連続スラグ流実験で計測される特徴的空気振動波形~非周期性の解明に向けて ※◎菅野 洋・市原美恵
- P65 気泡構造の保存過程を理解するためのポリウレタンフォーム変形実験 ※◎大橋正俊・市原美恵  
桑野 修・寅丸敦志
- P66 福島県の救助・救済記録に基づく、安達太良山1900(明治33)年噴火被害の再検討 ※伊藤順一
- P67 降下火山灰のがいしへの付着量を評価するために―塩雪害・傾斜した屋根への堆積量の知見を活用する― ※志土田潔・竹内晋吾・屋地康平  
本間宏也・服部康男
- P68 雲仙普賢岳1990-1995年噴火に伴う降下火山灰の経年変化 ※筒井正明
- P69 2015年6月30日箱根火山大涌谷で放出された火山灰の起源 ※谷口無我・大場 武  
左合正和・関本安佐子
- P70 55Tephraの作製と配布 ※佐伯和人
- P71 宝永四年(1707)富士山噴火―史料に基づく高分解能降灰分布 ※◎安藤広太・津久井雅志
- P72 御嶽山2014年噴火に関する火山ガス移流拡散シミュレーション ※橋本明弘・福井敬一・高木朗充
- P73 領域移流拡散モデルへのasucaモデル面GPV導入―降灰予報で活用するために― ※新堀敏基  
林 洋介・藤原善明・松田康平  
石井憲介・佐藤英一・徳本哲男